



システムインテグレーターおよびエンドユーザー向けのGDPR

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーション およびAXIS Store Reporter

目次

1. はじめに	3
1.1 EU一般データ保護規則について(GDPR)	3
1.2 Axis Communicationsについて	3
1.3 Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションおよび AXIS Store Reporterについて	3
1.4 本書の目的および意図された使用方法	3
2. Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションの使用目的と機能	4
3. Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションで収集および 保存されるデータの種類	5
4. GDPRの役割と責任	6
4.1 Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションに対するAxisの GDPRコンプライアンスへの取り組み	6
4.2 Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションに関連したユーザーの GDPRに対する具体的な責任	7
5. 使用事例	7

本書で使用される重要な用語の解説:

GDPRとは、個人データの取扱いと関連する自然人の保護に関する規定及び個人データの自由な移動に関する規定を定める欧州議会及び理事会の2016年4月27日の規則(EU) 2016/679で、これによりEUデータ保護指令(Directive 95/46/EC)は廃止されました。

ユーザーコンテンツ: Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャーされ処理される情報

個人データ: GDPRでは、個人データとは識別された、または識別され得る個人(自然人)に関するすべての情報と定義されています。特定可能な自然人とは、特に画像(静止および動画)、名前、識別番号、位置情報、オンラインIDまたは当該自然人の身体的、生理的、遺伝的、精神的、経済的、文化的もしくは社会的特定に固有な1つ以上の要素を参照することにより、直接的または間接的に特定できる者をいいます。

個人データの処理(データ処理活動): データの収集や分類など、個人データで行う処理、または個人データを使用して処理する活動のことです。

個人データ管理者: 個人データ処理の手段と目的を決定する人のことです。オンラインまたはクラウドサービスのユーザーは、サービスを提供する上で個人データの処理(収集、保存、分析など)を行う個人データ管理者です。

個人データ処理者: 管理者を代理して個人データの処理を行う人のことで、データ処理に関する手段や目的は決定しません。オンラインまたはクラウドサービスのプロバイダーは、サービスを提供する上で個人データの処理(収集、保存、分析など)を行う個人データ処理者です。

使用例における概要

1. 概要

1.1 EU一般データ保護規則について (GDPR)

2018年5月25日以前は、EUデータ保護規制はEU指令に基づく各国で適用される国内法で構成されていました。この日付以降、当該指令は既存の各EU加盟国の国内データ保護法とともにEU一般データ保護規則 (GDPR)により置き換えられました。

GDPRは、個人データの保護を規定しており、企業がデータを処理する方法、および企業が保持する個人データに対して適切な安全対策を講じるなど、データを処理する際に企業が満たす必要のある要件を定めています。

1.2 Axis Communicationsについて

Axisは、ネットワークビデオ業界の市場リーダーで、映像監視業界におけるイノベーターです。Axisの売上高の大半は、ビデオ製品分野（ネットワークカメラ、ビデオエンコーダ、アクセサリ、アプリケーションソフトウェアなど）が占めています。

1.3 AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションおよびAXIS Store Reporterについて

今日、競合との競争は激しさを増しています。企業は、訪問者の行動についてより理解を深め、カスタマーエクスペリエンスの向上を図るために努めています。Axisネットワークカメラに導入されたAxis ビジネスインテリジェンスアプリケーションは、事業の改善と最適化を実現するための洞察力を強化するデータへのアクセスを可能にします。

1.4 本書の目的および意図する使用方法

本書の使用目的は2つです：

1. AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションとAXIS Store Reporterでデータ（ユーザーコンテンツ）が処理される方法について説明を行うこと; および

2. システムインテグレーターおよびエンドユーザーの方々が最適な方法でGDPRコンプライアンス対応が円滑に行えるように支援することです。



Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションとは、本書で用いられるAXIS People Counter、AXIS P8815-2 3D People Counter、AXIS Queue Monitor、およびAXIS Store Data Managerアプリケーションの総称です。AXIS Store Reporterは、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションから提供されるデータを視覚化するクラウドサービスです。

2. Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションの使用目的と機能

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションは、スマートフォンアプリケーションと同様に、Axisネットワークカメラにインストールして実行します。Axis ビジネスインテリジェンスアプリケーションは、店舗パフォーマンスや訪問者の満足度などを改善するための方法を洞察するために、主に企業で使用する数値統計データを収集します。AXIS People Counterは、たとえば、人が望ましくない方向に歩いていた場合や、店舗最大収容人数に達した場合、または混雑状況下で人々が押し詰められているなど、特定の動作が検出されたときにカメラからイベントをトリガーすることもできます。以下にAxis ビジネスインテリジェンスアプリケーションに関する洞察情報を記載します:

AXIS People Counter: 両方向同時に人数計測を行い、人々のロケーションへの出入りを追跡します。また、特定の時間、場所またはエリアに存在する人々の数に関する洞察も提供します。一部の場面では、平均訪問時間も取得することができます。ロケーションの占有率がユーザー定義の閾値に達した際に、イベントをトリガーすることができます。さらに、ユーザー定義の時間間隔内で1名以上の人がカメラの下を通過したかを検出し、これに基づいてイベントをトリガーすることができます。カメラの下で人が通過する方向を検出し、人が向かっている方向に基づいてイベントをトリガーすることもできます。このアプリケーションには、ロケーションに出入りする人数と、いつ出入りしたかのみが保存されます。イベントはアプリケーションに保存されません。

AXIS P8815-2 3D People Counter: 両方向同時に人数計測を行い、人々のロケーションへの出入りを追跡します。また、特定の時間、場所またはエリアに存在する人々の数に関する洞察も提供します。ロケーションの占有率がユーザー定義の閾値に達した際に、イベントをトリガーすることができます。イベントはアプリケーションに保存されません。このアプリケーションには、ロケーションに出入りする人数と、いつ出入りしたかのみが保存されます。

AXIS Queue Monitor: 待ち行列に立っている平均人数と、長い待ち行列および中程度の待ち行列の時間に関する洞察を提供します。待ち行列が特定の閾値を超えたときにイベントをトリガーすることができます。イベントはアプリケーションに保存されません。

AXIS Store Data Manager: システムインテグレーター/販売会社向けの管理ツールです。装備されている場合は、Axis ビジネスインテリジェンスアプリケーションから統計データがAXIS Store Data Managerへ転送され、ハードウェアストレージ仕様に基づいて、カメラアプリケーションデータを無制限に保存、統合、および組織化するために使用されます。AXIS Store Data Managerのその他の機能には、カメラ接続の監視、不整合や接続問題に関する電子メールアラートの送信、アプリケーションから ビジネスインテリジェンスアプリケーションへのデータの静的または動的に更新された（固定リンク）エクスポートの作成が含まれます。



AXIS People Counter



AXIS P8815-2 3D
People Counter



AXIS Queue Monitor



AXIS Store Data Manager

3. Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションで収集および保存されるデータの種類

先述の通り、Axis ビジネスアプリケーションによって保存される唯一のデータは、一定期間にロケーションに出入りする人数など、数値情報の出力のみです。Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションは、映像やビデオを一切保存せず、Axis ビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャまたは処理された情報を使用して、標準操作モードで人物を識別することはできません。すなわち、キャプチャーされる情報（すなわちユーザーコンテンツ）は個人データではありません。

AxIS People CounterからのCSV形式の数値情報の例。

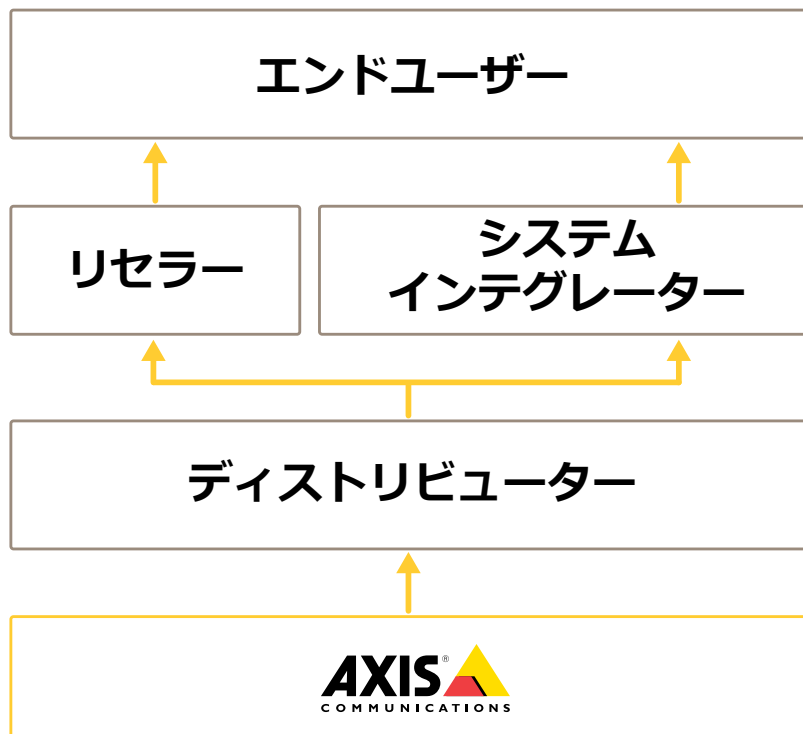
```
Interval start,Interval stop,Camera serial number,Counter name,Pedestrians coming in,Pedestrians going out
2016-03-01 00:00:00,2016-03-01 01:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 01:00:00,2016-03-01 02:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 02:00:00,2016-03-01 03:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 03:00:00,2016-03-01 04:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 04:00:00,2016-03-01 05:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 05:00:00,2016-03-01 06:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 06:00:00,2016-03-01 07:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],0,0
2016-03-01 07:00:00,2016-03-01 08:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],20,7
2016-03-01 08:00:00,2016-03-01 09:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],102,55
2016-03-01 09:00:00,2016-03-01 10:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],176,78
2016-03-01 10:00:00,2016-03-01 11:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],205,143
2016-03-01 11:00:00,2016-03-01 12:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],333,223
2016-03-01 12:00:00,2016-03-01 13:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],321,178
2016-03-01 13:00:00,2016-03-01 14:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],403,323
2016-03-01 14:00:00,2016-03-01 15:00:00,00408CAC58C5,Office Front entrance [Axis],321,276
```

保存されるデータは、標準モードでは人物を識別するために使用できないため、非個人データであることに留意することが重要です。

Axisが導く市場およびビジネスモデル

Axisは、間接販売モデルを通じて世界中のお客様にソリューションを提供しています。当社の間接販売モデルにより、当社からディストリビューター、その後システムインテグレーター、販売会社、エンドユーザーへと段階的に販売が行われています。当社のシステムインテグレーターおよび販売会社は、エンドユーザーに対応し、Axisポートフォリオの設計、統合、インストール、およびサービスを実施いたします。特定の業種のエンドカスタマーと取引するシステムインテグレーターと、複数の分野のエンドカスタマーと取引するシステムインテグレーターが存在します。

AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションとAxIS Store Reporterの場合、エンドユーザーに販売、インストール、構成、調整を行い、システムのサービスおよびメンテナンスを行うのは、通常はシステムインテグレーター/販売会社です。



4. GDPRの役割と責任

これらのアプリケーションを使用して、個人データを処理する場合、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションのユーザー（通常はエンドユーザー）がGDPRに準拠した方法で行うようにする責任を負います。GDPRでは、これらのユーザーを個人データ管理者と定義しています。Axisは、Axisビジネスアプリケーションの使用についてGDPRが定める責任を負いません。

AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションがAXIS Store Reporterに接続されている場合、Axisは個人データ処理者として個別にGDPRの責任を負いますが、AXIS Store ReporterおよびAXIS Store Data Managerのホストされているバージョンのデータに対してのみ責任を負います。詳細についてはセクション5をご覧ください。

GDPRに従って個人データを処理する場合、個人データ管理者はGDPRに定められたデータ保護原則に準拠するように設計された技術的および/または組織的対策を実装する義務を負います。GDPRに準拠するためのビルトイン方式/機能を構築すること（技術的および経済的に実現可能な状態で）に配慮する必要があります。GDPRではこれをプライバシー・バイ・デザインと呼んでいます。Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションの場合、これらの対策の例には映像の暗号化と恒久的匿名化があります。

さらに個人データ管理者は、デフォルト設定で個人データのプライバシーを侵害する処理を最小限に抑える技術的または組織的対策を実施する義務を負います。GDPRではこれをデフォルト設定と呼んでいます。Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションにおいては、これらの対策の例として、アプリケーションのライブビデオストリームの暗号化と恒久的匿名化がデフォルトモードとして実装されています。

プライバシー・バイ・デザインおよびプライバシー・バイ・デフォルトの実装は、管理者が負う義務です。GDPRは開発者/製造者にプライバシー・バイ・デザインおよびプライバシー・バイ・デフォルトを実装することを義務付けていません。

4.1 Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションに対するAxisのGDPRコンプライアンスへの取り組み

GDPRコンプライアンスの義務はAxisビジネスインテリジェンスアプリケーションのユーザーにあります。AxisはユーザーのこうしたGDPRコンプライアンスへの対応が円滑に行えるようにサポートします。本書の情報を提供することも、こうしたサポートの一環でもあります。さらに、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションの匿名化機能は、GDPRへの準拠と、GDPRが定めるプライバシー・バイ・デザインおよびプライバシー・バイ・デフォルトへの準拠が円滑に行えるように設計されています。

4.1.1 匿名化

前述のように、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションは、標準モードで個人データを保存しません。さらに、ほとんどのアプリケーションでは、カメラのライブビューから人物を識別できないように構成することが可能です。

AXIS People CounterおよびAXIS Queue Monitorは、ソフトおよびハードの2段階で匿名化を行います。ソフト機能は、カメラからのすべてのビデオストリームと画像をブロックします。ライブビューには、不鮮明な画像が表示されます。つまり、何が起きているかを確認することはできませんが、ビデオストリームから人物を特定することはできません。匿名化ハード機能では、すべての管理者ユーザーが削除され、rootパスワードがロックされます。これを戻すには、カメラを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。

AXIS P8815-2 3D People Counterでは、ライブビューまたは録画で人物が識別されないようにする場合は、プライバシーモードをオンにすることができます。これにより、すべてのビデオストリームと画像がブロックされ、ライブビューが黒い画像に変更されます。

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションは、デプロイした後、Axisネットワークカメラに組み込まれて実行されます。カメラメーカーであるアクシスコミュニケーションズは、サイバーセキュリティを非常に重視しており、認証、承認、パスワードの適用など、製品やアプリケーションの堅牢性および安全性を高めるソリューションを提供しています。これらは、Axisビジネスインテリジェントアプリケーション固有の特性ではなく、よりスマートでより安全な世界の実現を目指すAxisのビジョンです。

詳細情報: www.axis.com/ja-jp/about-axis/cybersecurity

4.2 Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションに関連したユーザーのGDPRに対する具体的な責任

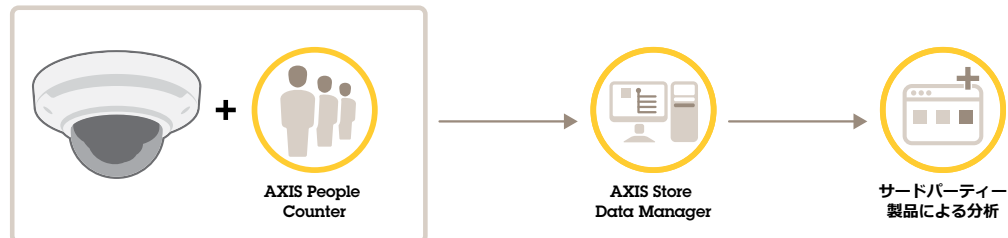
Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャーおよび処理される情報が個人データを構成する場合、GDPRではこれらのアプリケーションのユーザー（ユーザーの会社）が個人データ管理者とみなされます。GDPRにより、個人データ管理者は多くの要件が求められます。そのなかでも、最も重要となるのが以下の要件です：

- > GDPRで規定されているように、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションで個人データを処理するための法的根拠があることを確認します。
- > Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションを使用する際は、個人データ処理の対象となる人物に常に正確で明瞭な情報を提供する必要があります。これらの情報には、とりわけ、収集する個人データの種類およびそのデータを使用する目的が含まれていることとします。
- > 通知した目的以外の目的で個人データを使用しないでください（前の項目を参照）。
- > 保有している個人データに関して、データの対象となる人物からの要求に対応できるように、個人データの効率的な管理機能を実装および維持する必要があります。
- > 処理する個人データの適切な安全性を確保し、維持します。
- > プライバシー・バイ・デザインとデフォルト・バイ・プライバシーの原則に従って独自のシステムをセットアップします。
- > 個人データ処理者とデータ処理者契約 (DPA) を締結します。

5. 使用事例

使用事例 1 ローカルエリアネットワーク設置におけるAxisビジネスインテリジェンスアプリケーションソリューションの概要

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションをデプロイする1つの方法は、たとえばAXIS People Counterと一緒にデプロイされたネットワークカメラをあるロケーションに取付け、AXIS Store Data Managerを使用してカメラアプリケーションデータを保存、統合、整理することです。この使用事例では、カメラや店舗の数に関係なく、すべてのアクティビティがエンドユーザーのローカルエリアネットワークで行われます。カメラはそのロケーションに配置されており、通常は本店にあるAXIS Store Data Managerに数値データのみを報告します。エンドユーザーは、サードパーティが提供する視覚化ツールを使用して、さらに分析を行うために表やグラフでデータを視覚化することも選択することができます。



ローカルエリアネットワーク設置におけるAxisビジネスインテリジェンスアプリケーションの使用に関するGDPR準拠の責任

エンドユーザーのニーズを満たし、ローカルエリアネットワークにAXIS Store Data Managerをセットアップするには、システムインテグレーターは、会社名、ユーザーの名、ユーザーの姓、ユーザーの電子メール、および不整合や接続問題に関する電子メールアラートシステムなどの受信を希望するエンドユーザーの詳細を含めて実施する必要があります。Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションを独自のローカルネットワークにデプロイする場合、アクセスが提供されていない限り、Axisはユーザーコンテンツ、すなわちAxisビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャーおよび処理される情報にアクセスしません。

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションがローカルネットワークにインストールされていて、AXIS Store Reporterに接続されていない場合、AxisはAxisビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャーされた個人データに関して、個人データ処理者ではありません。Axisは、これらのアプリケーションのみを提供し、アプリケーションを介して個人データの使用や処理に関与することはありません。

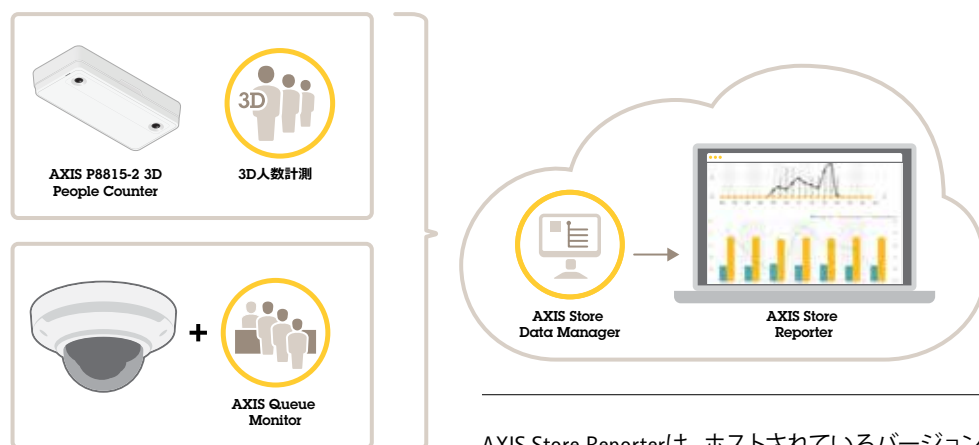
¹ Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションを使用する際に、ユーザーまたはユーザーの会社に適用される可能性のある正確なGDPR準拠責任またはその他の法的義務をご自分で調査する必要があることに十分に留意してください。これについて、本書の最後にAxisの免責事項が記載されています。

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションの設定に応じて、データ処理者とデータ管理者の役割をエンドユーザーからシステムインテグレーターに、またはその逆に移転することができます。特定の設定において、GDPR準拠の責任がどのように割り当てられるかを調査することが推奨されています。さらに、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションを他のサービスプロバイダー（すなわちサードパーティの視覚化ツール）に接続することを選択した場合、その特定サービス設定でGDPR準拠への責任がどのように割り当てられるかを調査することが推奨されています。

使用事例 2 AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションおよびAXIS Store Reporter

その他の使用例は、AXIS P8815-2 3D People Counterまたは、AXIS Queue Monitorなどを使用してデプロイされたネットワークカメラを取り付けて、AXIS Store Reporterに接続する方法です。AXIS Store Reporterのユーザーは、ホストされているバージョンのAXIS Store Data Managerの機能を含むクラウドサービスソリューションにアクセスします。AXIS Store Reporterは、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションによって収集された統計情報を視覚的に示すためのグラフとチャートを表示する視覚化ツールです。

この使用例では、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションがロケーションにインストールされ、ユーザーの（ユーザーの会社の）ネットワークで動作しています。セクション3で記載した通り、Axisのビジネスモデルはパートナーとの共同事業です。AXIS Store Reporterのサービスへのアクセスをエンドユーザーに許可するには、特定の情報を提供する必要があり、ほとんどの場合、システムインテグレーター/販売会社によって行われます。



AXIS Store Reporterは、ホストされているバージョンのAXIS Store Data Managerの機能を含むクラウドサービスソリューションです。AXIS Store Reporterは、Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションによって収集された統計情報をグラフとチャートを表示する視覚化ツールです。AXIS Store Reporterのデモバージョンにアクセスしてご覧いただくことができます：

<http://asr-demo.axis.com/tour/start>

ソリューションの概要

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションを販売し、AXIS Store Reporterをセットアップするには、システムインテグレーターがAxisチャネルパートナープログラムの一員となっている必要があります。詳細については次をご覧ください：www.axis.com/ja-jp/partners/channel-partner-program

AXIS Store Reporterをセットアップするための最初のステップでは、システムインテグレーターがAxis/パートナーページにアクセスし、ホストされているバージョンのAXIS Store Data Managerでインスタンスを作成します。

システムインテグレーターの以下のデータを入力する必要があります。

- > 会社名（通常はシステムインテグレーター）
- > ユーザーの名
- > ユーザーの姓
- > ユーザーの電子メール

AXIS Store Data Managerのホストバージョンの場合、データはスウェーデンのAxisサーバーに保存されます。設計上、システムインテグレーターは、サービス管理者であり、エンドカスタマーをそれぞれのエンドカスタマー会社の追加管理者として招待することができます。エンドユーザー企業へのアクセス管理はシステムインテグレーターの責任であるため、Axisはこれらの設定を制御することはできません。同じシステムインテグレーターによってホストされている異なるエンドユーザーは、相互のデータを閲覧することはできません。

ホストされているAXIS Store Data Managerがセットアップされると、システムインテグレーターは、AXIS Store Data Managerで追加のユーザー（通常はシステムインテグレーターの従業員やエンドユーザー）をセットアップして、システムが統計データを受信していない場合の警告などを受信することができます。

次のステップでは、AXIS Store Data ManagerをAXIS Store Reporterに接続します。システムインテグレーターがエンドユーザー企業を作成すると、エンドユーザーにAXIS Store Reporterへの招待状が届き、ポータルにアクセスしてエンドユーザーへの新規招待状を生成する必要があります。

その間、カメラはAXIS Store Data Managerに接続されていなければなりません。この作業は通常、システムインテグレーターによっても実行されます。情報を受信するには、以下の詳細を含める必要があります。役割とアクセス権限によっては、システムのユーザーは、同じ情報を追加する追加ユーザーを招待することができます。

- > 会社名（通常はエンドユーザー）
- > ユーザーの名
- > ユーザーの姓
- > ユーザーの電子メール

AXIS Store ReporterはクラウドサービスでありAxisの関連会社であるZoined Oyによって提供されています。このサービスのデータは、アイルランドのアマゾンウェブサービスサーバー（AWS）に保存されます。

Axisビジネスインテリジェンスアプリケーションによってキャプチャーされ、処理されるすべての情報（すなわちユーザーコンテンツ）は、Axisアフィリエイトのクラウドで処理されます。AXIS Store Reporterを適切に実行するために、Axisは一部の情報にアクセスする必要があります。さらにAxisは、ユーザーから明示的に指示された場合に限り、たとえばテクニカルサポートを行う目的でユーザーコンテンツにアクセスします。

AXIS Store Reporterで処理されるデータの種類

AXIS Store Data Manager: 上記のすべての数値情報（すなわちユーザーコンテンツ）、およびユーザーによって/ユーザーのために設定された管理者/ユーザーアカウントに関連する情報。管理者/ユーザーアカウントに関連する情報には、上記のように、ユーザー/管理者の従業員の名前と電子メールが含まれる場合があります。

ローカルにインストールされたバージョンのAXIS Store Data Managerと同様に、データまたはデータセットの静的または動的に更新された（パーマリンク）エクスポートを作成して、アプリケーションから他のシステムへの数値データ出力を提供したり、AXIS Store Reporterに視覚化したりすることができます。ホストされているAXIS Store Data ManagerをAXIS Store Reporter以外のサービスプロバイダー（すなわちサードパーティの視覚化ツール）に接続することを選択した場合は、その特定のサービス設定でGDPR準拠の責任がどのように割り当てられるかを調査することが推奨されています。

AXIS Store Reporter: 上記のすべての数値情報（すなわちユーザーコンテンツ）、およびユーザーによって/ユーザーのために設定された管理者アカウントに関連する情報。管理者/ユーザーアカウントに関連する情報には、ユーザー/管理者の従業員の名前と電子メールが含まれる場合があります。

AxisビジネスインテリジェンスアプリケーションおよびAXIS Store Reporterの使用におけるGDPR準拠の責任

AXIS Store Reporterでは、GDPR準拠の責任は次のように割り当てられます。

システムインテグレーターの顧客（通常はエンドユーザー）: ユーザーアカウントの設定時にAXIS Store Data Managerに送信される従業員情報(1)に含まれる個人データの個人データ管理者。

システムインテグレーター/販売会社: ユーザーアカウントの設定時にAXIS Store Data Managerに送信される従業員情報個人データの個人データ管理者。システムインテグレーターの顧客ユーザーアカウントを設定する際に、AXIS Store Data Managerに送信される従業員情報(1)の個人データについて、顧客に代わって行う個人データ処理者。ユーザーアカウントの設定時にAXIS Store Data Managerで送信される従業員情報の個人データ用の個人データ管理者。システムインテグレーターの顧客ユーザーアカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerに送信された従業員情報の個人データについて、顧客に代わって個人データ処理を行います。

Axis: システムインテグレーターのユーザーアカウントを設定する際に、AXIS Store Data Managerのシステムインテグレーターによって提供された従業員情報 (1) に含まれる個人データをシステムインテグレーターに代わって処理する個人データ処理者。システムインテグレーターの顧客ユーザーアカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerに送信される従業員情報に含まれる個人データについて、システムインテグレーターに代わって処理する個人データ処理者。

Zoined Oy: システムインテグレーターのユーザーアカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerのシステムインテグレーターによって提供された従業員情報(1)に含まれる個人データをAxisに代わって処理する個人データ副処理者。システムインテグレーターの顧客ユーザーアカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerに送信される(2)従業員情報。

Amazon Web Services (AWS): システムインテグレーターの利用者アカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerのシステムインテグレーターによって提供された従業員情報(1)に含まれる個人データをZoinedに代わって処理する個人データ副処理者。システムインテグレーターの利用者アカウントを設定する際にAXIS Store Data Managerに送信される(2)従業員情報。

Axisは、上記に従ってAxis Store Reporterを提供するすべてのシステムインテグレーターとデータ処理者契約(DPA)を締結します。システムインテグレーターは、顧客とは別にデータ処理者契約(DPA)を締結する必要があります。

さらにAxisは、AXIS Store Reporterに関連して、Axisの個人サブデータ処理者であるZoined OyがAxisに代わって実行するデータ処理事業に対して、Zoined Oyとデータ処理者契約(DPA)を（上記のように）締結しました。Zoined Oyは、これに対応してAXIS Store Reporterに関連して、Zoinedの個人サブデータ処理者として、AWSがZoinedに代わって実行するデータ処理事業に対してAWSとデータ処理者契約(DPA)を締結しました。

Axisは、Axis Store Reporterにおける個人データ処理者として、GDPRが定めるプライバシーとデータ保護の原則に従うことに努めています。

GDPRコンプライアンスの義務がAXIS Store Reporterの利用者が担う場合、AxisはユーザーのGDPRコンプライアンス対応が円滑に行われるように最善を尽くします。本書の情報を提供することも、こうしたサポートの一環でもあります。

免責事項

本書とその内容は、Axisの厚意により提供されているものであり、本書に対するすべての権利またはそれに関連する知的財産権（商標、商品名、ロゴタイプ、および同様のマークを含む、ただし必ずしもこれらに限定されない）は法律によって保護されています。ドキュメントまたはドキュメントに関連する知的財産権に対するすべての権利、権原、および/または利益は、Axis Communications ABに帰属し、今後も継続するものとします。本書は「現状有姿」で提供されており、情報提供のみを目的とし、いかなる種類の保証も適用されません。本書は、Axis Communications ABおよび/またはその関連会社に対する法的義務を意図するものではなく、また法的な効果を有するものではありません。Axis製品に関連するAxis Communications ABおよび/またはその関連会社の責任は、Axisとその製品をAxisから直接購入した事業体との間の契約条件のみが適用されるものとします。解釈上の疑義を回避するため、本書の使用、結果、および性能に関するすべてのリスクは、本書の利用者が負うものとします。またAXISは、法律で認められる最大限の範囲で、法定、明示、黙示を問わず、商品性、製造物責任、特定の目的への適合性、権原の黙示の保証、または本書に関する提案、仕様、またはサンプルから生じる保証を含むがこれらに限定されないすべての保証を否認および除外します。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティの向上とビジネスの新しい推進方法に関する洞察を提供するネットワークソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークビデオ業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、インテリジェントアプリケーション、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連する製品とサービスを提供しています。Axisは50ヶ国以上に3,800人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、スウェーデン・ルンドに本社を構えています。

より詳しい情報は www.axis.com をご覧ください。